

竹野 昇 議員

駅北口市営駐輪・駐車場の
所有権

問 駐輪・駐車場の所有（運営）権の移転は、市の財政に関わる重大事。慎重に検討すべきだと考えるが。

答 特定の団体に市民の財産を貸与し、駐輪・駐車場の運営を委託するには、相当の公益性が必要。議会の意見も伺いながら慎重に判断していきたい。

教育・福祉予算の確保

問 教育・福祉予算は、市民サービスに直結している。来年度予算編成において一律7%カットをするのではなく、少なくとも今年度予算額を維持すべきだと考えるが。

答 教育費は7%カットの対象になる。福祉関係の大半は、扶助費。扶助費は義務負担経費であるから、7%シーリングの対象外にしてある。

教職員多忙化解消対策

問 部活動外部指導員（顧問）の制度化を検討してはどうか。

答 国は、平成30年度に市町が部活動指導員の任用を行う場合、費用の3分の1を補助するとしている。袋井市においても、国の補助金制度利用を含め、制度実施に向けた条件整備など、先駆的な他市の動向を注視し、導入の可能性について検討していきたい。



袋井駅北口市営駐車場

森杉 典子 議員

市内二つの高校への思いは

問 県教育委員会の「ふじのくに魅力ある学校づくり推進計画第3次長期計画」改編案の発表を受け、地域のまちづくり、人づくりへの取り組みに向け、市内2高校への思いは。

答 各高校が学び続ける力や人間力の養成に向けて趣向を凝らした取り組みを展開していることを、可能な限り助力していきたい。

問 市内の小中学校、2高校、静岡理工科大学との教育連携に向けた取り組みは。

答 高等学校教員が中学校に来校し、学校生活や卒業後の進路先などを紹介しており、中学生の進路選択に役立っている。静岡理工科大学では「公民館DEお理工塾」を実施しており、小学生が進路に対する夢や希望を育む機会となっている。

「産後ケア」の充実を

問 産婦の1割が何らかの原因で産後うつを発症しているとの報告がある。市として更なる産後ケアの充実が必要と考えるが。

答 現在、産科医院や助産所が市内では数が少ないため、広域で連携した産後ケアサービスの実施に向け近隣の市町や医療機関と定期的な情報交換を行うなど検討を始めている。



ファミリー・サポート・センター（カンガルーのぽっけ内）